

安全データシート

作成日 2014年12月1日

1. 製品及び会社情報

製品名 : 現場加熱式アスファルトモルタル (ドライ・アスモル)
会社名 : 墨東化成工業株式会社
所在地 : 〒130-0025 東京都墨田区千歳一丁目8番14号
電話番号 : 03-3635-1111 (代表)
FAX 番号 : 03-3635-1119

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 特になし。
環境影響 : 情報なし。
物理的および化学的危険性 : 特になし。
特定の危険有害性 : 特になし。
分類の名称 : 分類基準に該当なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
化学名または一般名 : 現場加熱式アスファルトモルタル
成分 : 骨材 (砂) 80%以上
アスファルト 3~15%
添加剤 3~15%

化学特性

化学式 (示性式) : 特定できない。
官報公示整理番号 : 該当なし。
CAS 番号 : 該当なし。
(本製品に含まれるアスファルト 8052-42-4)
危険有害成分 : 該当なし。
その他 : 該当なし。

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で十分に洗い落とす。
目に入った場合 : 多量の水で十分に洗い、必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末、泡等の消火剤。
使ってはならない消火剤 : 棒状注水の場合、火災を拡大する場合がある。
※本製品は、骨材（砂）が成分の80%以上を占め、引火性はない。ただし、直火で長時間加熱した場合に、本製品に含まれるアスファルト等の油分に着火する場合がある。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 直接触れないようにする。
環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはならない。
保護具及び緊急時措置 : 保護手袋や保護眼鏡等を着用する。
回収方法及び機材 : スコップ、ほうき等を使用し、飛散しないように取り除く。
河川や下水に漏出した場合は、直ちに関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 敷き均し後、舗装用プロパンバーナー等で表面を加熱し、プレートコンパクタ等を用いて転圧する。
注意事項 : 道路補修、舗装の仮復旧以外の用途には使用しない。
他の油やアスファルト、薬品等を混入しない。
安全取扱い注意事項 : 保護手袋や保護眼鏡等を着用し、直接触れないようにする。
舗装用プロパンバーナー等で材料を加熱する際は、周囲に引火延焼の危険性がないことを確認してから使用する。

保管

- 適切な保管場所 : 雨水・異物等の混入や高温を避けるため、倉庫等で保管する。
安全な容器・梱包材料 : 袋に入れたまま保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 室内で取り扱う場合は、排気装置を設置することが望ましい。

保護具

- 呼吸用の保護具 : 通常の手扱いは特に必要ない。
手の保護具 : 保護手袋を着用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 固体。
色	: 黒色。
臭い	: 油分由来の臭気がある。
PH	: 情報なし。
密度	: 2.0～2.2 (転圧後)

※本製品に含まれるアスファルトについて、性質は次の通りである。※注1

沸点・融点	: 沸点 >300℃、融点 54～173℃
引火点・発火点	: 引火点 >200℃ (測定条件: closed cup) 発火点 >485℃
水への溶解性	: 溶けない。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用条件では安定している。
反応性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 情報なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし。
皮膚刺激性	: 情報なし。
眼刺激性	: 情報なし。
感作性	: 情報なし。
慢性毒性・長期毒性	: 情報なし。
発がん性	: 本製品に含まれるアスファルトについて、IARC (国際がん研究機関) の評価ランク 2B (ヒトに対して発がん性を示す可能性がある) ※注2
その他	: 情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし。
残留性・分解性	: 情報なし。
生体蓄積性	: 情報なし。
土壤中の移動性	: 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄物処理法等の法令に従い、適正に処理をする。
汚染容器・梱包	: 廃棄物処理法等の法令に従い、適正に処理をする。

14. 輸送上の注意

- 国内法規制 : 法令で定められている基準に従う。
国際法規則 : IMDG コード（国際海上危険物規則）、IATA（国際航空運送協会）規則に従う。
国連分類 : 分類基準に該当しない。
安全対策及び条件 : 転倒・落下・衝突を避け、漏出のないことを確認する。

15. 適用法令

国内適用法

- 化審法 : 特定化学物質・指定化学物質に該当しない。
消防法 : 該当しない。
労働安全衛生法 : 該当しない。
毒物および毒物取締法 : 該当しない。
船舶安全法 : 該当しない。
航空法 : 該当しない。
火薬類取締法 : 該当しない。
高圧ガス保安法 : 該当しない。
化学物質管理促進法 : 該当しない。
海洋汚染防止法 : 該当しない。

物質登録情報

- TSCS : 該当しない。
EINECS (ELINCS) : 該当しない。

16. その他の情報

引用元

- ※注 1 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版「アスファルト」に記載の情報による。
※注 2 IARC の評価物質 名称「Bitumens, occupational exposure to straight-run bitumens and their emissions during road paving (Vol. 103)」に記載の情報による。

当シートの記載内容は現時点の最善の調査に基づき作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得ますので、取扱いには注意が必要です。使用者の責任において安全な条件を設定するようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

当シートは、日本の国内法規を基準に作成したものです。